

令和2年度 福島小学校 重点目標に関する自己評価結果からの考察と来年度に向けての改善策について

| 重点目標 | 学年末自己評価の結果からの考察 | 来年度に向けての改善策 |
|---|--|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">確かな学力を身に付けた 子どもの育成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習で宿題は9割以上の児童ができていますが、自主的に学習できている児童は少ないと感じる。 ・家庭での読書量が少ない。 ・主体的な学びを目指し、放送番組を継続的に視聴することに難しさを感じる。 ・体験的・作業的な活動は積極的に取り入れることができています。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで家庭学習をしている児童を学校で紹介する。それに対して教師もしっかり評価を行う。 ・家庭学習の手引きを継続的に活用し、具体的に宿題に取り入れていく。 ・探求的な自主学習の仕方を指導する。 ・家での読書記録を作成する。 ・カリキュラムマネジメントを行い、主体的な学びができるように放送番組を活用する。 ・GIGAスクールの開始に備え、ICT機器を活用した授業や活動を多く取り入れる。 |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">心豊かな子どもの育成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上の学年は、毎月のめあての振り返りを代表委員会で行っているが、低学年はクラス全体で振り返りを行う機会が少ないことがわかった。 ・人権教育は日々の教育活動の中で、それぞれ行ってはいるが、年間計画に沿って行うという意識が低かった。 ・新型コロナウイルスの影響で、高齢者や地域の方とふれあったり、体験的に学ぶことのできる活動を取り入れることが難しかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友達のよさを認める活動は、どのクラスでも行っているが、以前に運営委員会が行っていたように、友達のよさを目に見える形（ふせんやカードなど）で残していくと、子どもたちの意識がより高まるように感じるので、今後も行っていく。 ・学級会や係活動を朝の活動や学活の時間にもっと組み込み、積極的な活動になるようにしていく。 ・次年度は、新型コロナウイルスの状況を見極めながら、工夫した体験活動を取り入れていきたい。 ・人権教育に関しては、年間計画を常に手元に置き、意識をして計画的な教育活動を行っていく。 |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">心身ともにすこやかな 子どもの育成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業で使う教材の工夫や設備の整備が十分にできた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、体育委員会による運動や遊びの紹介があまりできなかった。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発に課題が残る。 ・残食は減少傾向にある。 ・なわとびジャンピングボードや砂場の制作にPTAの方々が協力してくれて大変ありがたかった。 ・給食試食会が行われず、啓発につながらなかったことは残念だった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・さかあがりの傾斜板を用意するなど、子どもが主体的に運動を楽しめる環境作りを行う。 ・体育委員会が中心となり、低・中学年が積極的に参加できる集会を企画する。 ・給食時間に食事マナーについてや、朝ごはんを食べることへの啓発を継続的に行っていく。（ICTの活用や栄養教諭からの指導を積極的に取り入れる。） ・給食委員会から「早寝・早起き・朝ご飯」の啓発をよびかける。（よびかける週間を意図的に設ける。） |

| | | |
|---------------------------------|--|---|
| <p>一人一人に 応じた指導</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援コーディネーターを中心とした児童の共通理解を広く行うことができた。 ・教職員間で相談をしたり，報告したりしやすい体制ができていた。 ・教員，子ども共に一人一人がタブレットをもっと自由に使える環境があれば一人一人に応じた指導をしやすかった。（台数制限があったため） | <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体のきまりをもう一度はっきりさせて，全教職員で指導を徹底していく。 ・GIGAスクールの始まりに合わせ，児童一人一人に応じた個別の指導ができるように個別最適化の研究をすすめたり，自分の知りたい課題や調べたいことについて積極的に調べられるよう教員自身もスキルを高め，児童をサポートしていく。 |
| <p>安全・安心な学校づくり</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に安心・安全の評価はほぼ満足といえる。 ・全教職員がアレルギーの子どもについて知っておくべきことや対応の仕方について周知・徹底できていない。 ・校内の歩行の仕方については，歩行指導している割合は高いが，実際に児童が走っていることをよく見かける。テープをろうかの中央に貼るなどの工夫も行ったが，なかなか徹底できていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災について，防災担当がスケジュールを組んで文言を決め，定期的に安全・防災に関するものを学年だよりに記載する。 ・年度末に，病気やけが，アレルギーの対応等について，困ったことやうまく対応できた事例などを教職員で共通理解し，次年度への対応に役立てる。 ・以前に作成していたアレルギーがある児童一人一人のファイリングを作成し，教室や職員室等に置いておき，何かあったとき誰にでもすぐに対応できるようにしておく。（扱いには十分配慮する。） ・防災意識高揚のために，参観日なども活用した取組を進める。 |
| <p>保護者・地域等と協力 連携した学校づくり</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で，ほとんどの地域行事や交流会はできなかったが，2年生の町たんけんの取り組みや4年生の介護体験など，できるだけ工夫や対策を講じて教育活動が停滞しないように学習活動を行ってきたことはよかった。また，その学習の成果をHP等にアップして地域や保護者の方に情報を発信できたこともよかった。 ・感染防止対策を徹底してスポーツフェスティバルを行ったり，PTA参観日や演奏会を分散して行ったりし，できる限り児童のがんばっている様子を保護者に見ていただけるように集会や行事を行うことができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業ができるような準備や教職員の意識を高めるための研修を早急に行う。 ・Zoomを用いた家庭への配信ができるように環境作りを行う。 ・HPの充実を図る。（お知らせやお願ひだけでなく児童の学習成果等についても） ・GIGAスクール構想等，今後大きく様変わりするであろう教育の在り方について保護者の理解を求められるように，本校の教育について発信していく。 ・コロナ禍でも児童の学びを止めないように，ウィズコロナの考え方で行事の工夫や精選を行ったり，情報機器を活用した授業作りの在り方を検討する。 |
| <p>効率的で働きやすい 職場づくり</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・STORKの使い方については，中間評価のプラス評価が2割弱だったことに比べ，年度末評価では8割を超えているため，教員の利用率が上がり使い方に慣れてきたのではないかと感じる。 ・いろいろな先生方と話し合うことのプラス評価が高いことから，教職員間のコミュニケーションが図れていることがわかる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ストックの課題については，「コメント欄がないのでやりとりがしにくい。」「教室で見られないので不便。」「出退勤の表がもっと簡素化されたらよい。」などが挙げられるため，改良できるところはしていただくよう要望したい。もしくは使いやすくするために教職員間で工夫をして使っていく。 ・業務の精選としては，仕事の優先順位をはっきり決め，業務の見直しを図ったり，効果があるものかどうか精選したりしていく。（放課後の欠席連絡も含め） ・帰るボードについては，個人でなく，学年で取り組むようにする。 |